



平成24年度 岡山版スーパー公務員養成塾の取り組み

回	開催日	内容	備考
第1回	5月22日(火)	<p>◆ 講義 「職員の人材育成の必要性、求められる能力を持った人材育成に向けて」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <p>分権時代に必要とされる能力、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①目的を設定できる課題設定能力 ②目的を達成するための職務遂行能力 ③他の人と協力して目的を達成する対人能力 ④問題を克服する問題解決能力 <p>また、人材育成の基本は「自学(自ら考え・調査し・行動する)」であることを学んだ。</p>	
第2回	6月29日(金)	<p>「私のまちの人材育成の現状と課題について」 発表・グループワーク</p> <p>それぞれの自治体における人材育成の現状と課題を整理し、発表及びグループワークにより情報の共有並びに人材育成で重要な課題は何かを整理した。</p> <p>特に、重要な課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ①求める人材像の明確化(人材育成基本方針) ②人事管理の一元化 ③やりがい・誇りを持たせる職場風土の醸成 ④求める人物(職員)像の採用 があげられた。 	

<p>第 3 回</p>	<p>7月27日(金)</p>	<p>◆ 講義 「人事諸制度の現状と課題(人事異動)」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <p>それぞれの自治体の人事異動の現状を整理し、人事異動の目的や重要性、自己申告制度、日本における人事異動の特殊性などを学んだ。また、神奈川県のカリヤ選択型人事制度などの取り組みの紹介もあった。</p>	
<p>第 4 回</p>	<p>8月23日(木) 24日(金)</p>	<p>先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岸和田市(人事考課制度) ● 西宮市(人材育成の取り組み) ● マッセ OSAKA(研修センターの取り組みと自治体連携) <p>先進的な取り組みをしている事例の調査研究を通じて、見識を広め、また現地での担当者との交流により、インターネットなどからは得られない生きた情報を収集した。</p> <p>なお、先進地視察を終え、塾生から以下のような感想があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地に出向くことでしか得られないもの、感じられないものがあることを学び、視察に行くことで得られるものの大きさを実感した。 ・先進地として活躍されている職員の生の声を聞くことができ、大変意味深い研修であった。 ・情報は求めない限り自分たちの元にはやってこない。また知らないということがいかに恐ろしいことかを再確認した。 	

<p>第 5 回</p>	<p>9月24日(月)</p>	<p>◆ 講義 「人事諸制度の現状と課題(職場で育てる)」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <p>◆ 先進地事例紹介 「山口市における人材育成の取り組みについて」 山口市 職員課長 村田尚士 氏</p> <p>職員が育つ職場風土の重要性を理解し、職場研修(OJT)やコーチング、コミュニケーションなど、職員を職場で育てるポイントや必要性を学んだ。 また、山口市における事例紹介では、職場のチームづくりやトータル人事システムの取組み状況などの紹介をいただいた。</p>	
<p>第 6 回</p>	<p>10月15日(月)</p>	<p>人事評価セミナー(他の職員と合同研修)</p> <p>◆ 講演「人事評価制度における評価結果の活用」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <p>◆ 先進地事例紹介 岸和田市会計管理者 小堀喜康 氏 寝屋川市人事室副係長 石峰昌明 氏</p> <p>稲継先生による基調講演と岸和田市及び寝屋川市の事例紹介、パネルディスカッションを通じて、それぞれの自治体にあった人事評価を考えるとともに、人事評価制度導入の必要性を理解し、評価結果の効果的な運用や留意点などを学んだ。</p>	

<p>第 7 回</p>	<p>11月15日(木)</p>	<p>◆ 講義 「人事諸制度の現状と課題(研修制度)」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケースメソッドの演習 <ul style="list-style-type: none"> ①「研修拒否」 ②「佐藤課長のケース」 <p>研修の必要性や研修効果、参加・体験型であるケースメソッドについて学ぶとともに、ケースメソッドを実践した。</p>	
<p>第 8 回</p>	<p>12月12日(水)</p>	<p>プレゼンテーション研修 講師:池田 定博 氏(株式会社電通関西支社)</p> <p>成果発表会に向けて、海外研修の研修生と合同でのプレゼン研修を実施。 聞き手を惹きつけるコツや納得させる表現力・説得力などを学んだ。</p>	
<p>第 9 回</p>	<p>12月20日(木)</p>	<p>「人材育成の課題に対する解決策について」 発表・意見交換</p> <p>それぞれの自治体における人材育成の課題に対し、養成塾で学んだことを参考に解決策として実施した取り組みや、今後予定している取り組みについてそれぞれ塾生から発表を行い、意見交換を行った。</p>	

<p>第 10 回</p>	<p>1月17日(木)</p>	<p>◆ 講義 「職員採用制度の現状と課題(伸びる職員を採用するには)」 早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継裕昭 氏</p> <p>◆ 先進地事例紹介 「大阪府における職員採用の取り組みについて」 大阪府人事委員会事務局 主査 藤井省吾 氏</p> <hr/> <p>前例踏襲にとられない新しい発想をもって「考え・調査し・行動する職員」が求められ、このような人材を確保し、育成していくことが重要であることを学んだ。</p> <p>また、大阪府の事例紹介では、求める人材の戦略的な獲得の重要性や求める人材像を確実に獲得できる試験制度への再構築など、具体的な取組み状況などの紹介をいただいた。</p>	
<p>第 11 回</p>	<p>2月18日(月)</p>	<p>◆ 成果発表会 講義や先進事例の調査研究から学んだこと、また、これからの自治体に必要な人材育成について、すでに取り組んでいる事例などを交えながら塾生11名による発表を行った。</p> <hr/> <p><養成塾を終えての塾生の感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲継先生や塾生のみなさんと一緒に真正面から人材育成について向き合った時間は自分にとってかけがえのないものとなった。 ・人材育成に関する課題や問題点に関し認識が高まり、解決への糸口を見出すことができた。 ・「自学」の大切さを目の当たりにし、学ぶことの重要性、必要性を痛感した。 ・稲継先生や人材育成に熱い思いを抱いたメンバーに、毎回多くの刺激を受け、他の団体の事例を聞くことで、問題点、改善点を見出せたことは大きな成果でした。 	